

## 特集 2



## 苦小牧市民文化ホールとは

# 大解剖! 苦小牧市民文化

令和8年3月、苦小牧市民文化ホールが誕生します。メインテーマは「親近感と愛着を持てる憩いのプラザ(公共の広場)～苦小牧市民のサードプレイス～」。

老朽化する市中心部の公共施設4館の機能を統合する施設として、市民のどなたにとっても居心地の良い「居場所」となり、さらに新たな交流が生まれていくような、皆さまに愛される文化芸術交流拠点の実現を目指しています。

氷都苦小牧を象徴する氷の特徴



とけあい つながり 広がる

©久米設計



©久米設計



©久米設計

### ホールA (1,200席)

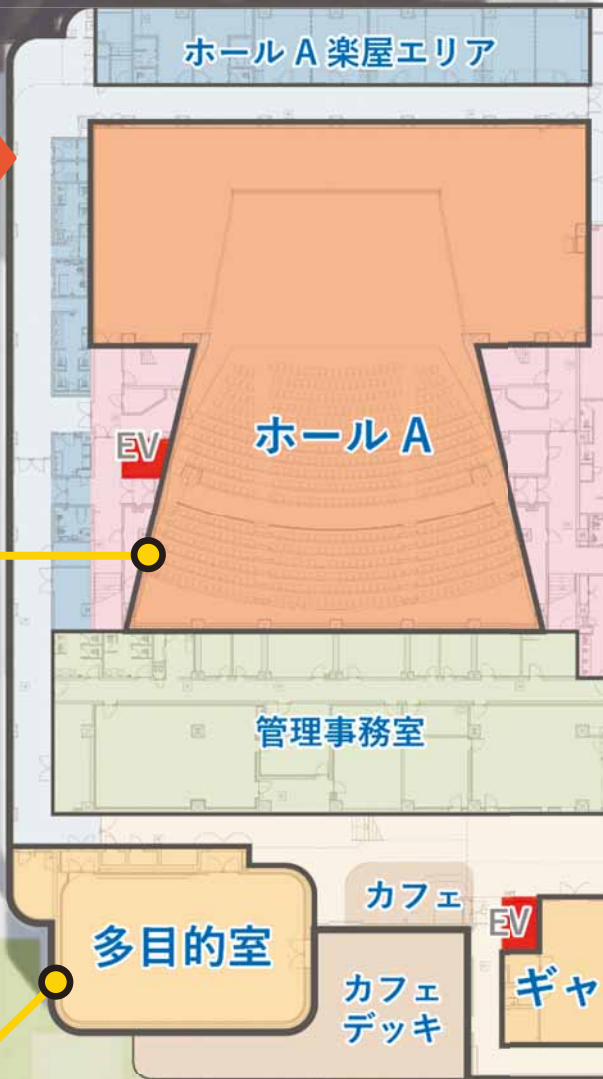
2層バルコニー構造のホールです。音響反射板を利用したコンサート、演劇、ダンス、バレエ、日本舞踊、伝統芸能などに加え、大規模な会議や式典など、さまざまなジャンルの催しが開催できます。



©久米設計

### 多目的室

小規模な発表会やコンサート、講演会、試験、会議など、各種イベントに幅広く利用できます。防音・遮音機能にも優れており、ホールAのリハーサル室としての利用も可能です。



### 建設工事の状況



昨年8月には現場見学会を実施。市民の皆さまに普段見ることのできない工事現場の中の様子を見学いただきました。